

■第2回農業水利施設ストックマネジメント研修会開催！■

平成28年11月25日（金）に宮土連主催の第2回農業水利施設ストックマネジメント研修会を石巻市北方土地改良区及び新倉埵揚水機場にて開催しました。

お知らせ 今年度も全3回の研修を通して参加することで、自ら機能保全計画の策定が出来るようになることを目標としています。

第2回は非稼働時の施設点検と演習、更に高圧電気設備の点検方法や維持管理に関する講習も行いましたが、第3回では施設点検に基づいた保全計画書作成演習を行いますので、ぜひ参加してください。第3回の研修会は、土地連本部にて2月17日（金）に開催します。



↑研修会の様子

■ダムコンの不具合が発生しました■

平成28年11月15日（火）に、ニツ石ダムに設置されているダムの状況を遠方監視するための演算処理装置（以下、ダムコン）に不具合が生じ、緊急的に対応を行いました。

◆確認された状況としては・・・

- ・ダムの各種データ（貯水位、貯水量、空容量、貯水率、全流入量、全放流量、バルブ開度、放流水温等）が大崎地方ダム総合事務所の監視モニターに表示されなくなりました。
- ・これは、ダムの日々管理の中で測定しているデータが遠方で監視できなくなるため、職員が現場で定期的に確認しなければならなくなるという事態につながり、ダムや下流における河川の危険察知が速やかにできなくなることを意味します。

◆推測された原因とは・・・

- ・HDD等機器の経年劣化によるものと推定されます。さらにメーカーの保証期間は7年となっており、8年経過した今年度は保証の対象外となっていました。

◆今回実施した対応策は・・・

- ・復旧予算は、基幹ストックマネジメントにおける緊急補修工事を適用し、確保しました。
- ・復旧方法は、危険分散のため、不具合の生じたダムコンと同型のパソコンを2台確保し、アプリケーションソフトのインストールを行いました。

◆今回の不具合は希なケースですが、他の農業水利施設の水管理システムでもこのような事態は起こり得ます。以上を踏まえた被害軽減措置としては・・・

①定期的な整備による動作確認、②導入時のOSにマッチしたパソコンの確保、③新しいパソコンしか確保できないのであれば、アプリケーションソフトにマッチした当時のOSをそのパソコンに移植する準備④サブのダムコンの定期的な整備及び動作確認などです。

ダムの水文管理システム全体の更新を行うためには、数千万円の費用を必要とします。将来の更新時期や、補助事業のメニューなどを常に確認しながら関係者(財産所有者、管理受託者)と協議を日頃から行っておくことが重要と考えます。

■情報提供 ～地域ストマネ事業導入実施事例の紹介～

■水利施設整備事業（地域農業水利施設保全型）河南1期地区について

地域ストマネ事業に関しては平成26年から毎年事業採択が行われ、現在まで県内6地区で事業が実施されています。

平成28年度採択の【河南1期地区】については、補助事業を活用して機能保全計画書を作成しましたが、その後独自に作成した機能保全計画書を合せて事業申請し採択されています。

河南1期地区採択スケジュール

年度	内容	実施者	備考
H25	機能保全計画作成 10 施設	土地改良区が土地連へ委託	合理化事業を利用
H26	機能保全計画作成 3 施設	土地改良区直営	
H27	事業申請	土地改良区	13 施設を河南 1 期地区として申請
H27	地区計画検討委員会	県	
H27	国ヒアリング	県	
H28		新規採択	

事業主体である河南矢本土地改良区では、毎年3回行われているストックマネジメント研修会に積極的に参加し、自ら機能保全計画書作成に取り組んだ結果、全13施設、総事業費95,200千円の地区採択が実現しました。その主な事業内容は、揚水機場の主ポンプや電気設備の整備と、暗渠排水機場の設備更新が主なものとなっています。

なお、他の土地改良区においても、既に自ら機能保全計画書を作成し、順次事業申請を行う準備をしていますので、まだ機能保全計画書作成に取り組んでいない土地改良区においては、早めに取り組むことで早期の事業採択が実現されることとなりますので、積極的な対応をお願いいたします。

○問い合わせ先 宮城県農林水産部農村整備課 水利施設保全班 TEL 022-211-2876
HP <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonsei/sutok1-1.html>
宮城県土地改良事業団体連合会 総務部 会員支援班 TEL 022-263-5814